



# 社会福祉協議会「椎名だより」 平成29年度 第1号 (通算16号)



発行者：千葉市社会福祉協議会椎名地区  
編集者：千葉市社会福祉協議会椎名地区 広報委員会  
代表 岡本 博 幸 〒266-0021 千葉市緑区刈田子町 28

千葉市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
ハーティちゃん

## 平成二十九年年度

### 千葉市社会福祉協議会椎名地区部会 事業計画・内容

委員長 岡本 博幸

#### 【ふれあい食事サービス】(高齢者対策事業)

毎月第3木曜日・椎名公民館・11時～13時  
「歩け歩け」運動で公民館に集まり、調理ボランティア手作りの高齢者に優しいお弁当をみんなで食べる会です。食後は思い出話などのおしゃべりや、幼いころや青春時代の楽しい歌を合唱します。

#### 【ふれあい・いきいきサロン】(高齢者対策事業)

毎月第2火曜日・古市場第一・第二・第三団地の集会所にて順番開催  
13時～15時  
保健師・社会福祉士による「健康・介護」に関する相談会や、ラジオ体操・輪投げゲームなどで身体をほぐし、脳トレのための音楽療法で健康寿命を伸ばしています。その他楽しいゲームもあります。

#### 【漢字パワーアップ支援】(地域で子どもを育てる事業)

毎週水曜日・8時～8時半。椎名小学校全児童対象  
地域のボランティアの皆さんは児童との「ふれあい」を大切に、鉛筆の持ち方から始まり、漢字の正しい書き方と意味など、児童が楽しく漢字が好きになれるように支援しています。

#### 【総合学習・食育支援】(地域で子どもを育てる事業)

椎名小学校では環境学習を年5回。5年生には食育教育(田植え・稲刈り・脱穀・太巻き寿司作り)と感謝の会を支援。6年生には伝統芸能羯鼓舞(かつこまい)の演舞指導を。この事業は、社協・民児協・J A女性部・ライスセンターなどの地域各団体の方々の協力で毎年実施しています。

#### 【いいのみ祭支援】(地域で子どもを育てる事業)

椎名小学校では毎年11月に「しいのみ祭」が開催されます。祭の前半は伝承文化の継承(あやとり・お手玉・ビー玉・コマ廻し・竹とんぼ作り・絵手紙・陶芸体験・しめなわ作りなど)を地域の方々の協力の下、児童とふれあいが実施されています。「こんな特技を持っている人がいるよ」という人を紹介してください。

#### 【福祉体験授業の支援】(地域で子どもを育てる事業)

椎名小学校の中高学年の児童に対し「いじめ」や「差別」のない心を育てる授業として、いろいろな障害を持ちながらも懸命に生活されておられる方との「ふれあい」により福祉の心を育てておられます。

平成27年度は視覚に障害を持った方を、28年度は身体的に障害がありながらも車椅子バスケットを楽しんでおられる方をお招きし、生活上の困り事を聞き、子どもにできるお手伝いの方法を学びました。29年度は耳の不自由な方をお招きしてお話を聞く予定です。素直な児童だからこそできる支援です。

#### 【高齢者見守り活動】(高齢者福祉活動)

平成25年4月より古市場第一・第二・第三団地にて実施中で、「お元氣確認委員会」の名称で見守り活動をしています。声かけや見守りを希望された高齢者に対し、住民ボランティアが外観(郵便ポスト・洗濯物・電灯・カーテン等)から判断異常がないかを見守っています。また、日常生活での出会いのときは「こんにちは」「お元氣ですか」などの声かけも行い、高齢者の孤独化を緩和しています。希望者には電話での声かけも行っています。

見守り活動を組織的に行っていない町内自治会でも、向こう三軒両隣の輪を広げ、回覧板を回すときに一言「お元氣ですか」の声かけを積極的に行っています。

#### 【敬老会の実施】(高齢者福祉事業)

敬老の日に各自治会では75歳以上の方をお招きし、感謝の意を表すための敬老会を開催します。また、敬老会の開催が困難な8町内会については、共同で敬老会を行います。

地域全体では、今年米寿や金婚式を迎えられた方々の記念撮影会を公民館で行います(希望者のみ)。

#### 【福祉・コミュニティまつり】(コミュニティづくり活動)

本年度は平成30年2月11日(日)椎名小学校で開催します。住民のふれあい事業として「福祉バザー」には皆様から寄せられた善意の品物を販売します。その利益は、歳末に行われる80歳以上の独居高齢者見守り資金に。また、災害地への見舞金として日本赤十字社を介しての寄付などに使います。

#### 【広報活動】(広報誌「椎名だより」年3回発行)

皆さんの情報誌です。是非情報を提供してください。  
(今回の発行は遅れてしまいました。がんばっています。)

# 福祉教育「スポーツ義足体験教室」

## 椎名小学校5・6年生が体験

障害者と健常者の共生社会を目指して

岡本 博幸

椎名小学校では校長先生を先頭に全教職員の皆さんが福祉教育に関心を持たれ、「福祉の心」を持った児童の育成に取り組んでいます。

平成29年12月8日(金)10時～12時5分まで体育館で義足装着と歩行体験・義足についての学習等が行われました。講師は義足で陸上100M(10秒1)・200Mの選手で又吉康十(こうと)さんとスタッフ9名でした。最初に義足体験教室です。まず5・6年生が義足装着の方法を理解し、そして一人一人が左右に装着し歩行体験を行いました。

又吉さんの義足についてですが、義足を児童が引張ってみました。抜けません。すると、又吉さんが外して見せてくれました。わずか一本のピンで止まっていることにびっくりしました。重さは2kgとのことになりました。さらに又吉さんの切断了した足を触ってみました。ぶるぶると柔らかく、このことにもびっくりしました。この状態で義足がつけられ、ピン一本で装着されていくことにさらに驚きの声が上がりました。

次は、児童が義足を付けて歩行とジャンプを体験です。右足左足と交互に付けて歩行と跳ねる体験をしましたが、思うようにはいきませんでした。支えられながら歩行をしていきました。慣れるまで時間がかかりましたが、徐々にできるようになりました。義足と一体化することがいかに大変なのかということを実感した体験でした。

この体験を通して、パラリンピックで競技する選手のすばらしさを肌で感ずることができたと思えました。これからは感動の心をもって観戦することと思えました。



最後は座学でした。スタッフの方と又吉さんとの対談でした。その主な内容は次のことです。

①どんな義足があるのですか。

(スポーツ選手用 50万円位、日常時用 1万円位、動力のある義足は150万円位とのことでした)

②義足は何でできていますか。

(鉄、プラスチック、炭素繊維、カーボン繊維)

③いつ足を切断しましたか、生活はどうですか

(20歳の時です。義足は1ヶ月で慣れるようになりま

した。今は健常時だったところと同じ生活をしています)

④選手としての希望は何ですか

(パラリンピックに出場することです。そして金メダルを取りたいです)

⑤最後にオリンピックで障害者と健常者が共に競技をすることに對してどう思いますか。義足を認めますか

認めませんか。という司会者からの発言がありました。児童にとっては難しい問題でした。私達にとっても

答えることはできません。これからの課題だと思えました。

体験は感動の源泉です。障害者理解への一歩です。障害者と健常者が共生できる社会の実現に向かって努力していくことを学びました。

体験は感動の源泉です。障害者理解への一歩です。障害者と健常者が共生できる社会の実現に向かって努力していくことを学びました。



# 《しいのみ祭》開催 児童と地域住民は仲良しです

11月18日(土)に開催された「しいのみ祭」は、地域のボランティアの方々と楽しく触れ合うことができました。

「おはじき・折り紙・コマ廻し・けん玉・注連縄作り・凧作り・陶芸」と楽しさを体験してもらいました。「絵手紙」はおじいちゃん・おばあちゃんに届くよう心を込めて書いていました。絵手紙届きましたか。(本田記)



# 《地域伝承文化「羯鼓舞」 6年生が勇壮・華麗に演舞披露

11月29日(水)第6回「羯鼓舞」の演舞が5・6年生によって演じられました。今年は5年生の演舞も入り、一段と勇壮な舞となりました。椎名小学校の伝統行事の一つとして定着してきました。

地域の伝統文化を継承していくことは地域に對しての愛着と誇りを持つことになります。同時に歴史を知り、昔の人々の生き方・考え方・感じ方を学ぶ機会となります。「羯鼓舞」には天地に對しての畏敬の念を持って生きてきた農民の姿が舞にこめられています。第7回は更に進化した演舞が期待されます。素晴らしい演技に感謝申し上げます。(岡本記)



